

H004	ビジョン特殊講義「若者の選挙参加」		
英名科目名	Special Lecture on Vision Broadening		
大学名	立命館大学		
連絡先	【衣笠教学課】TEL：075-465-8310		
担当教員	村山 皓		
開講期間	<p>2021年8月31日（火）～2021年9月3日（金） 2021年夏の集中講義です。4日間連続の授業日時を確認してください。</p> <p>8月31日（火）1～4限 9月1日（水）1～4限 9月2日（木）1～4限 9月3日（金）1～3限</p> <p>【授業時間について】 本科目は立命館大学のキャンパスではなく、キャンパスプラザ京都で開講します。 授業の開始・終了時刻は以下のとおりですので、間違いのないよう注意してください。</p> <p>1限：9:00～10:30 2限：10:50～12:20 3限：12:40～14:10 4限：14:30～16:00 5限：16:20～17:50 6限：18:10～19:40 7限：20:00～21:30</p>		
開講形態	夏期集中	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	1回生以上
会場	キャンパスプラザ京都		
授業定員	50		
単位互換生定員	15	京カレッジ生定員	15
試験・評価方法	<p>【平常点評価】100% 政策提案を含むレポートで成績評価する。</p> <p>集中講義なので、授業を欠席するとついていけない。</p>		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：43,400円 ・聴講生：25,800円		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応情報について 立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対する独自の行動指針（BCP）を設け、BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を判断しています。 立命館大学の行動指針（BCP）や入構制限状況、その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報は以下HPからご確認ください。</p> <p><新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ> http://www.ritsumeiji.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1</p> <p>シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講</p>		

	<p>ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> http://www.ritsumeiji.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/re/raku.html</p>
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要と方法】 講義の名称は「若者の選挙参加」である。近年、国政、地方選挙ともに投票率は低下傾向にあり、特に若者の投票率は低く、18歳から20歳代の有権者の約3人に1人しか投票に行かない現実がある。そこで、若者の投票行動に注目して、選挙参加の低迷の原因を探り、選挙を基盤とする民主主義のための処方箋を考えることは、今日の重要な政策課題である。この授業は、大学での学習を通じて、京都における選挙への若者の参加についての政策提案を行うことを目指す実践的な内容となっている。具体的には、京都市政や選挙に関わる行政の機能についての知識の獲得、人々の投票行動のデータ分析の技法の習得、メディアの選挙報道や選挙啓発活動への理解などによって、若者への選挙啓発の政策提案を学生一人一人が作成する。</p> <p>【到達目標】 若者の選挙参加の低迷の政策課題について、研究を基盤とする政策提案の手法を学ぶ。</p> <p>【授業外学習の指示】 数学や統計学の知識が特に必要わけではないが、投票行動のデータの分析をも学ぶ授業内容になっている。授業へのコンピュータ（エクセルが使えるもの）の持参が必要である。ただし、持参できない場合は、学生数に応じてではあるが、授業当日に貸し出しできる数台を用意することもある。 コロナ禍の状況でWebでのZoom授業になれば、学生一人一人がネットワークにつながりエクセル（ピボットテーブル）の使えるコンピュータを持っており、メールアドレス（個人のもので大学のものでもよい）を持っていることが必須である。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 特にないが、自ら自主的に学ぶことが求められる。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 学生との直接対話</p>
講義スケジュール	<p>1 選挙と民主主義 選挙を取り巻く最新の課題、政治参加と政治動員</p> <p>2 選挙に関わる行政と政策 選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会</p> <p>3 京都における若者の選挙参加（集積データと標本調査データ） 京都市民の投票行動についてのデータ、日本国民の投票行動についてのデータ</p> <p>4～7 投票行動のデータ分析（京都市民の投票行動 - 京都市議会議員選挙での明るい選挙推進協議会調査 - ） データ分析の実践</p> <p>8 日本の選挙とアメリカ合衆国の選挙 有権者登録、投票用紙、選挙公報、投票所設置などの具体的な比較</p> <p>9 選挙とメディア 選挙報道、選挙広報、マニフェスト</p> <p>10～12 政策提案作成の実践 投票行動のデータ分析の結果などの研究を基盤とする政策提案の手法</p> <p>13～15 若者の選挙への参加の促進に向けての政策提案の発表会</p> <p>【授業実施形態】 BCPレベル3以上：Web授業 BCPレベル1～2：【対面授業：7回、Web授業：8回】</p>
教科書	
参考書	

